

水戸市埋蔵文化財センター公式キャラクター



つねづみ ひろし
ダイダラボウの常澄 大 ヤマトシジミのズミー

常陸国 風土記

ひたちのくにふどき

「最前を略す」平津の駅家の西一二里に岡あり。名を大櫛という。上古人あり。体は極めて長大く、身は丘壘の上に居ながら、手は海浜の蜃を摺りぬ。その食いし貝、積聚りて岡と成りき、時の人大朽の義を取りて、今は大櫛の岡という。その踐し跡は、長さ四十余歩、広さ二十余歩なり。尿の穴の径は、二十余歩計なり。「以下は略す」

古代、今の水戸市平戸町に、「平津の駅家」があり、そこから見て西の方一、二里のあたりに岡がある。ここを「大櫛」という。大昔、巨人がおり、岡の上にながら手をのばして海浜の大蛤をほじくり出して取った。その巨人が取って食べた貝が積もって岡となつてゐる。このため、貝が「大朽」の意味から今は「大櫛の岡」というのである。また、巨人の踏んだ足跡は、長さ約七メートル、広さが三メートル、小便のたまつた穴の径は、約三メートルもある。

文責 佐藤 次男

水戸市大串貝塚ふれあい公園 (水戸市埋蔵文化財センター)

● 公園入園・施設入館は無料

● 園内施設の開館時間

午前9時から午後4時15分

巨人像、埋蔵文化財センター、古代復元住居
(公園内のライトアップは午後9時まで)

● 休館日/月曜日

ただし月曜日が祝日と重なった場合は翌日

★年末年始=12/29~1/3



〈交通のご案内〉

- 車：東水戸道路水戸大洗I.Cから5分
- バス：水戸駅から「大串公園」下車徒歩2分
- 電車：大洗鹿島線常澄駅から徒歩30分

〈問い合わせ先〉

水戸市教育委員会事務局教育部
歴史文化財課埋蔵文化財センター
〒311-1114 茨城県水戸市塩崎町 1064-1
TEL & FAX 029(269)5090



水戸市大串貝塚 ふれあい公園

(水戸市埋蔵文化財センター)



水戸市教育委員会事務局
教育部歴史文化財課

大串貝塚ふれあい公園 マップ



1 古代復元住居



2 遊具



3 巨人足跡池



4 貝層断面観覧施設

大串貝塚ふれあい公園

「大串貝塚ふれあい公園」は、伝説の巨人「ダイダラボウ」と縄文時代をイメージして平成3年7月23日に開園しました。

大昔の人びとの生活を体感し、歴史を学習できる歴史公園です。

埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターでは、水戸市内の埋蔵文化財の所在の有無の照会や発掘調査、出土品の整理・展示をはじめ、講座や体験教室の開催、小中学校の社会科学習・総合学習の受け入れなどを行っています。

当センター前の広場には、一見すると壊れた柱が並んでいますが、これらは、柱がだんだんと朽ちていくという時間の流れを表しており、遺跡が形成されていく様子をイメージしています。



2階 埋蔵文化財整理室

発掘調査によって出土した埋蔵文化財の洗浄・記録・接合・図化などを行い、報告書の刊行を目指しています。



1階 縄文くらしの四季館

縄文時代の四季をテーマに、大串貝塚の出土品を中心に展示し、当時の人びとの生活の様子を学ぶことができます。また、市内の遺跡から出土した遺物を、旧石器時代から近世まで時代ごとに展示しています。



国指定史跡「大串貝塚」

奈良時代に編さんされた『常陸国風土記』のなかに記されている貝塚です。文献に記載された貝塚としては世界で最も古いものとされており、昭和45年に国の史跡に指定されました。昭和初期の調査によって、縄文時代前期（約5,000年以上前）に形成された貝塚であることが明らかになっています。



5 大串貝塚

展望台があるよ!



ダイダラボウ像

高さ15m25cm

昔のくらしへ
タイムスリップ!!

